

■土方定一 美術評論家。優れた企画展・野外彫刻展や賞の創設と審査など、戦後日本の近代美術館普及に尽力した。

ひじかたていいち

日露戦争始・1904＝ 岐阜県大垣の八幡宮境内で、土方乙吉・かきの長男に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 1歳：

一家で、名古屋に移住し、

韓国併合・・・1910＝ 6歳：松本小学校に入学、

明治天皇没・1912＝ 8歳：一家で、東京の本郷に移住し、根津小学校に編入。

大正政変・・・1913＝ 9歳：一家で、早稲田に移住し、早稲田南小学校に編入。

ロシア革命・1917＝13歳：卒業し、府立第四中学校に入学。

日本の近代詩人を愛読、

原敬首相暗殺1921＝17歳：

水平社結成・1922＝18歳：水戸高等学校文科乙類に入学、寮に入る。

護憲三派圧勝1924＝20歳：下宿に移り、週末には帰京。『同人雑誌{歩行者}』を発刊し、この年出版の宮沢賢治「春と修羅」を生涯愛読。

治安維持法・1925＝21歳：『同窓の舟橋聖一らと、同人雑誌{彼等自身}』を発刊し、詩を発表。アナーキストを自称し、

円本時代始・1926＝22歳：『草野心平を知り、彼が始めた詩誌{銅鑼}の同人となる。

『2度留年する間、舞台装置家を夢見て築地小劇場に土方与志を訪ね、児童劇団に「少年トルストイの夢」を応募して当選する一方、アナーキズムに一層近づき、エルンスト・トルラーの詩集「朝」を翻訳。

金融恐慌・・・1927＝23歳：『東京帝国大学文学部美学美術史学科』に入学、同志と{単騎}を、荻原恭太郎と{黒旗は進む}を発刊。

共産党事件・1928＝24歳：杉並成宗に転居。『ギニョール劇団{テアトル・ククラ}』を結成し、紀伊国屋で上演。小川末明の新興童話作家連盟に参加し、機関誌{童話運動}に童話を発表。

世界恐慌・・・1929＝25歳：『パンフレット{Gignol}』をつくり、脚本「どうして馬は風をひくか」を載せる。

海軍軍縮条約1930＝26歳：『卒論「ヘーゲルの美学」』を書いて卒業、大学院に進み、ヘーゲル研究のため、ドイツに留学するが、

満州事変・・・1931＝27歳：『結核で帰国。「ハリコフ会議の報告其他」を翻訳出版。明治文学談話会に参加。

五一五事件・1932＝28歳：『\*「ヘーゲルの美学」』を出版。

国際連盟脱退1933＝29歳：『山室静責任編集{クオタリイ日本文学}』創刊に参加。

帝人疑獄事件1934＝30歳：結婚し、大田区千鳥に移住。『{明治文学研究}』創刊に参加。{偉人伝全集}第1巻「坪内逍遙」出版。

芥川直木賞始1935＝31歳：『{歷程}』創刊の同人となる。明治文学談話会の活動終わる。

二二六事件・1936＝32歳：『「近代日本文学評論史」』を出版。

日中戦争始・1937＝33歳：

健保+総動員 1938＝34歳：大学院での研究テーマを深めるため、推薦を受けて、興亜院囑託となる。

大政翼賛会・1940＝36歳：

日米開戦・・・1941＝37歳：『岡倉天心「近代日本洋画史」岸田劉生』を出版。大東亜省の囑託を経て、周作人がいた北京の燕京大華北総合調査研究所文化局副局長に赴任、

・・・1942＝38歳：『「デューラーの素描」・翻訳「インド芸術」』出版。

創価学会検挙1943＝39歳：『志賀重昂の「知られざる国々」』を編集出版。

年金+総武装 1944＝40歳：『「歷程詩集」』を出版。

敗戦・・・1945＝41歳：『列車が八路軍の襲撃に逢い、蒐集した中国彫刻の写真と抗日版画を失って、帰国。家族の疎開していた神奈川県足柄に落ち着き、「上海史」翻訳出版。

新憲法施行・1947＝43歳：『\*{みづゑ}に「近代美術とレアリズム」発表し、林文雄とリアリズム論争。「近代日本洋画史」を再刊。

極東裁判決・1948＝44歳：『「現代美術～近代美術とレアリズム」』出版。「近代日本文学評論史」を再刊。

三大事件・1949＝45歳：美術評論家組合発起人。千葉工業大学教授となり、稲毛に移住。

朝鮮戦争始・1950＝46歳：母が死去。平凡社{世界美術全集}編集委員。『神奈川県立近代美術館設立準備委員会委員』となり、

独立回復・・・1951＝47歳：千葉工業大学教授を辞して、『設立とともに、副館長、開館記念に「セザンヌ・ルノワール展」。

マーデー事件・1952＝48歳：共同通信社特別通信員の肩書を得て、ヨーロッパ各地を旅行し、

TV放送始・・・1953＝49歳：『「ヨーロッパの現代美術」』を出版。

自衛隊発足・1954＝50歳：『美術評論家連盟が結成され、会長に就任。ヨーロッパ各地の美術館を訪問し、

55年体制始・1955＝51歳：大田区調布嶺町に移住。『「世界美術館めぐり」』を出版。

なべ底不況・1957＝53歳：『高村光太郎賞創設に寄与し、審査委員。{みづゑ}にブリューゲル連載始める。「現代イタリアの彫刻」「ゴッホの水彩と素描」』出版。

インスタントメン・1958＝54歳：妻が死去。ヨーロッパ・オリエント旅行。『「造形の心理」』出版。

美智子妃・・・1959＝55歳：『「近代日本の画家たち」』出版。

安保闘争・・・1960＝56歳：再婚。父が死去。

タイタイ病始・1961＝57歳：『山口県宇部で、日本初の野外彫刻展を開催、

TV宇宙中継始1963＝59歳：『全国彫刻コンクールと改称。「ブリューゲル」刊行し、毎日出版文化賞。岩波新書「画家と画商と蒐集家」。

大学紛争始・1965＝61歳：少年伝記文庫「渡辺崋山」出版。『現代日本彫刻展』となり、審査委員長。神奈川県立近代美術館長となる。

いざなぎ景気1966＝62歳：神奈川県鶴沼に新居建てる。『岩波新書「日本の近代美術」』。

美濃部都知事1967＝63歳：『{みづゑ}に連載した「ドイツ・ルネサンスの画家たち」』を出版し、

震ヶ関ビル・1968＝64歳：『芸術選奨文部大臣賞。神戸須磨の野外彫刻展創設に関わり、審査委員長。

全共闘・・・1969＝65歳：『箱根彫刻の森美術館創設に関与し運営委員。{季刊芸術}に「レンブラント・ファン・レイン」連載始める。

大阪万博・・・1970＝66歳：入院し手術。『\*全国美術館会議会長。中原二郎賞を創設し、審査委員。「クレイ画集」を監修・出版。

ドルショック・・・1971＝67歳：『「ムンク画集」を監修・出版。ヨーロッパ各地訪問、「エドワード・ムンク展」の功績で、ノルウェー政府から勲章。「大正・昭和期の画家たち」「評伝レンブラント・ファン・レイン」刊行。

石油ショック1973＝69歳：『これらの業績で菊池寛賞。

角栄金脈辞任1974＝70歳：ヨーロッパ歴訪。

クアンブール事件1975＝71歳：神奈川文化賞。美術文庫「ヒエロニムス・ボス」出版。

田中角栄逮捕1976＝72歳：平凡社「土方定一著作集」の刊行が始まる。鎌倉に転居。

JALハッキング・1977＝73歳：『\*「アンソール展」「ブリューゲル版画展」の功績で、ベルギー政府から勲章。ノルウェーほか訪問。入退院。

成田衝突・・・1978＝74歳：『「トコトコが来たといふ（土方定一）詩・童話」』を刊行。

革新大敗北・1979＝75歳：ヨーロッパ訪問。『入院し、

貿易摩擦始・1980＝76歳：『退院後、自宅療養、結腸癌のため、没した。